

昨年度の市町村への指導事項対応状況（乳がん）

指導事項 ①	検診対象者に個別に受診勧奨を行うとともに、検診申込者のうち未受診者全員に対して再度の受診勧奨を行い、検診受診率の向上に努めること。		
	指導対象	対応状況	内 容
白石市	○	対応あり	個別に受診勧奨を行い、未受診者には、再度受診票を同封して通知した。
角田市	○	対応あり	広報にて対象者あて周知、未検者検診日を設け対象者全員へ通知文にて受診勧奨を実施。
蔵王町	○	対応あり	検診申込者のうちの未受診者に対して受診勧奨を行った。
七ヶ宿町	○	対応なし	
大河原町			
村田町	○	対応あり	未検者検診実施(検診団体に委託)
柴田町	○	対応なし	
川崎町			
丸森町			
塩竈市	○	対応なし	
名取市	○	対応あり	・未受診者のうち、年齢を限定して受診再勧奨を行った。 ・宮城県と包括連携協定を締結しているオリンパス株式会社受診勧奨資材を使用した。
多賀城市	○	対応なし	
岩沼市	○	対応あり	40歳の節目年齢の方のみ対象者全員へ受診票送付による受診勧奨を実施。検診申込者のうち未受診者全員に対して再勧奨を実施。
富谷市	○	対応あり	受診状況確認票の送付や電話連絡を複数回行うとともに、レセプトデータ等の確認を行い、受診者への受診勧奨、未把握者の動向把握に努める。
亘理町			
山元町			
松島町	○	対応なし	
七ヶ浜町	○	対応なし	
利府町	○	対応なし	
大和町			
大郷町			
大衡村	○	対応あり	集団検診未受診者へ再勧奨を行った。
大崎市	○	対応なし	
色麻町			
加美町			
涌谷町			
美里町	○	対応あり	引き続き検診申込者のうち未受診者に対し、未検者検診の実施案内と合わせ再度受診票を送付している
栗原市			
登米市			
石巻市			
東松島市	○	対応あり	検診未受診者への個別通知(予定)
女川町	○	対応なし	
気仙沼市	○	対応あり	検診の一括申込書と併せて、受診勧奨のチラシを同封している。また、未受診者にも個別通知して受診勧奨している。
南三陸町	○	対応あり	検診申込者のうち未受診者全員に再度受診票を発行し、未検者検診(日曜日に設定)を実施している。
仙台市	○	対応あり	40~64歳までの検診申込者のうち、一次医療機関の受診が確認できていない方に対し個別に通知(文書→電話)している。

昨年度の市町村への指導事項対応状況（乳がん）

指導事項 ②	精密検査受診率は全国平均より上回っているが、さらに、要精密検査者のうち、受診状況が未把握の者がいるため、受診状況を確認し、精密検査の受診につなげること。		
	指導対象	対応状況	内 容
白石市			
角田市	○	対応あり	未検者について個別に電話等で連絡し状況確認を実施。
蔵王町			
七ヶ宿町			
大河原町			
村田町			
柴田町			
川崎町			
丸森町			
塩竈市	○	対応あり	委託先より精密検査対象者名簿を受領し、電話・文書での受診勧奨を行っている。
名取市	○	対応なし	
多賀城市	○	対応あり	未受診者への電話・訪問等の受診勧奨を実施。
岩沼市	○	対応あり	検診機関と協力し、受信状況の確認及び精密検査受診勧奨を実施。
富谷市			
亘理町	○	対応あり	精密検査未受診者に対し電話で受診勧奨を実施している。
山元町			
松島町			
七ヶ浜町	○	対応なし	
利府町	○	対応なし	
大和町			
大郷町			
大衡村			
大崎市	○	対応あり	通知や電話で受診勧奨を行っている。
色麻町			
加美町			
涌谷町	○	対応あり	精検未受診者について、検診団体と協力し把握に努め、電話等で受診勧奨を行っている。
美里町			
栗原市	○	対応あり	個別連絡を行い、受診勧奨を行った。
登米市	○	対応あり	検診団体において、個別連絡により精密検査の未受診理由を把握している。
石巻市	○	対応あり	未把握者に対し通知を送付し、結果連絡をもらうことで精密検査結果の把握に努めた。
東松島市			
女川町			
気仙沼市	○	対応あり	未受診者への全件電話確認、勧奨を実施。
南三陸町			
仙台市	○	対応あり	精検の受診が確認できない市民に対しては、一次検診登録医療機関より勧奨を行い、それでも確認ができない場合には各区・支所において確認・勧奨（電話及び文書）を行っている。

昨年度の市町村への指導事項対応状況（乳がん）

指導事項 ③	「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に定められた対象年齢外(40歳未満)の者にがん検診を実施することは、不利益が利益を上回ることを認識し、検診対象者の見直しを検討すること。なお、指針の対象年齢外(40歳未満)の者に対して超音波検査等を実施する場合は、プレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の重要性についての普及・啓発とともに、利益・不利益の説明を確実にし、受診者の了承を得て行うこと。		
	指導対象	対応状況	内 容
白石市	○	対応あり	30歳から39歳には超音波検査を実施。若い世代からがん検診に関心を持ち、40歳からのマンモグラフィ検診へスムーズに移行する。また、若い世代でも乳がんが増えていることから、プレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の重要性についての普及・啓発、検診の利益・不利益の説明を実施し、受診者の了承を得て健診を行っている。
角田市	○	対応あり	受診案内に受診勧奨通知も同封している。
蔵王町	○	対応なし	
七ヶ宿町	○	対応あり	プレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の重要性についての普及・啓発の実施(対象者の見直しは検討せず)
大河原町	○	対応あり	超音波検査等を実施する場合は、プレスト・アウェアネスの重要性についての普及・啓発とともに、利益・不利益の説明を確実にし、受診者の了承を得ている。
村田町	○	対応なし	
柴田町	○	対応あり	医師が検診に関しての説明をし、受診者が同意した上で検診を実施している
川崎町	○	対応あり	セルフチェックのチラシを配布、普及・啓発を実施。
丸森町	○	対応あり	対象年齢については今後検討。プレスト・アウェアネスについての啓発、説明等は検診時に実施。
塩竈市			
名取市	○	対応なし	
多賀城市			
岩沼市	○	対応あり	35歳～39歳の方に対して超音波によるがん検診を実施。検診申込者全員に市独自のがん検診啓発チラシを作成し受診票に同封。なお、検診時の問診の際にも、プレスト・アウェアネスの啓発普及を行っているが、利益・不利益の説明については、配布している検診啓発チラシ以上の説明は行っていない。
富谷市	○	対応あり	受診機会確保のため、30歳以上の者に実施。利益・不利益の説明を確実にし、受診者の了承を得て実施するように努めた。30～39歳の対象者には超音波検査と実施しているが、その際、日々の自己検診の重要性に関する資料を配布し、説明することで、プレスト・アウェアネスについて啓発している。
亘理町	○	対応あり	30～39歳に対して超音波検査を実施しており、超音波検査の必要性について検討をしている。対象年齢の引き上げを実施するかどうかは未定。
山元町	○	対応あり	検診の対象者へは、検診委託先からのプレスト・アウェアネスの重要性についてチラシを用いて普及している。
松島町			
七ヶ浜町			
利府町			
大和町	○	対応あり	今後、検診団体と検討していく
大郷町	○	対応あり	検診対象者は30歳以上としているが、利益・不利益の説明を実施し、受診希望者の了承を得て超音波検査を実施した。
大衡村	○	対応あり	今後、委託医療機関と受診者に対する周知を検討。
大崎市	○	対応あり	受診票送付時にプレストアウェアネスのチラシを同封し、啓発している。
色麻町	○	対応あり	対象年齢外の者に対して、がん検診を受けるうえでの利益・不利益の説明を行い、同意を得た上で受診をしている。
加美町	○	対応あり	プレスト・アウェアネスの重要性の説明をチラシ等で啓発している。受診者の了承を得て実施している。
涌谷町	○	対応あり	指針が出される以前から30代の超音波検査・視触診を実施しており、H16に指針が改正され視触診が廃止になったが30代から実際にがんが見つかった実績もあり、30代の検診を完全になくしてしまうことは住民にとって不利益につながるなど、検診団体とも相談しながら継続している。40歳未満に限らず、検診の利益・不利益について受診者に対して周知は行い、プレスト・アウェアネスについて検診団体と協力しながら周知、啓発を行っている。
美里町	○	対応なし	
栗原市	○	対応なし	
登米市	○	対応あり	検診団体において、検診の有効性に加えて、利益・不利益の説明を実施している。
石巻市	○	対応あり	検診票や受診勧奨はがきにプレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)について記載することで、重要性の普及・啓発を行っている。
東松島市	○	対応なし	
女川町	○	対応あり	検診対象者の見直しについて検討したうえで実施している。利益・不利益については説明を行っている。
気仙沼市	○	対応あり	検診会場にて、ポスター等を掲示し普及啓発している。
南三陸町	○	対応あり	検診時に配布するリーフレットにプレスト・アウェアネスについても掲載し、問診時に啓発している。また、いつもと違うと感じたときは検診結果に関わらず早めに乳腺外科を受診するよう伝えている。
仙台市	○	対応あり	受診券に同封のQ&Aにて、超音波検査の利益・不利益について周知している。